

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	アイオライトVita		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 5日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 2月 5日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまが安心感を持って、楽しんで通所しているところ	スタッフが日々の療育の中で、気づいたことをヒヤリハットで共有し対策を考え実行しています。部屋のレイアウトや収納も、常にお子さま目線に立った使いやすい構成を考えています。使用する文房具類も、常にチェックと補充を行い快適に使っていただけるよう心がけています。また、スタッフ自身がお子さまにとっての強化子となれるよう関わりを工夫しています。	文房具類の補充や安全対策を不定期に行うだけでなく、定期的実施する時間を設け、お子さまが安心して過ごせる環境設定を心がけていきます。お子さまへの関わりについては、スタッフ間でお子さまの様子を状況に応じて共有し話し合い、お子さま一人ひとりに合った最適な関わりでの支援を心がけていきます。
2	お子さまひとりひとりの特性に真摯に向き合い、個別支援計画を作成しているところ	お子さまの普段の遊んでいる姿や、ちょっとしたエピソードをスタッフ間で共有し、その時々のお子さまの発達や興味に合わせた支援計画を作成できるよう心掛けています。出来上がった支援計画は必ず共有し、お子さまの発達や特性に合った計画が作成されているか確認を行っています。また、保護者さまに、どのような意図で支援計画が立てられているか丁寧な説明をおこなっています。	面談などを通じて、保護者様の想いや願いを汲み取り、そこにお子さまの発達や様子を加えて、これからも個々に合ったオーダーメイドの支援計画作成に努めていきます。その為に支援目標に対してのモニタリングを、しっかりと行いスタッフ間で共有し、次の個別支援計画の作成を行います。常にお子さまのより良い成長をイメージしながら、支援計画の作成に取り組んでいきます。
3	広く清潔感のある部屋で、お子さまの興味に合わせた遊びや活動ができるところ	毎日の清掃に加え、定期的に玩具や集団で過ごす部屋のマットや机・椅子も定期的にアルコール消毒を行っています。また、お子さまが好きな活動を選択できるような環境設定に取り組んでいます。特に、表出が難しいお子さまでも自由に選べるような玩具の収納棚の手前に、それぞれのおもちゃの写真と名称をひらがな表記し、絵カードで選択できるようにしています。	常時、選択できる玩具だけでなく、イレギュラーなタイミングで遊べるものや、年齢・発達に合わせた玩具を用意し、お子さまが常に楽しんで取り組めるような工夫を行っています。お子さまの興味・関心を知るために、お子さまと積極的にコミュニケーションをはかり、環境設定するための事前のリサーチも心掛けていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難計画やマニュアル、訓練を実施しているがそれが周知されていないところ	避難計画やマニュアルを用意し、事業所のドアにも掲示していますが、それらの周知がされていないためだと考えます。	改善の為に、事業所の玄関フロアに大きなホワイトボードを設置し、避難計画やマニュアルを保護者様が手にとって見ていただけるようにしました。そこに、避難訓練の実施のお知らせや、ブログの更新日時を明記し共有をおこなっています。
2	安全対策は、常にスタッフ間で話し合い講じているがそのことを保護者様と共有できていないところ	安全対策について、お知らせする機会や媒体がないことだと考えます。	安全対策を事業所玄関フロアにある掲示板で保護者様に知らせると共にブログでも具体的な改善点を明記し、お知らせしていきます。
3	保護者様を介して、保育所や幼稚園、認定こども園との連携はとっているが、そのような対応ができるという情報の共有や周知をする機会が少ないところ	保護者さまと、日々のお子さまの様子の伝達だけで引継ぎ伝達を終えてしまっているからだと考えます。	保護者さまのご相談がないときでも、お子さまが通園されている保育所や幼稚園、認定こども園といつでも連携することができる体制があることを折々にお伝えしていきます。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	アイオライトVita		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 5日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年 2月 5日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまが、楽しんで通所しているところ	部屋のレイアウトや収納を、常にお子さま目線に立った使いやすしい構成で考えています。日々の療育の中で気づいた時に改善しています。使用する文房具類も、常にチェックと補充を行い快適に使っていただけるよう心がけています。また、スタッフ自身がお子さまにとっての強化子となれるよう関わりを工夫しています。	文房具類の補充や部屋のレイアウト・収納の改善を不定期に行うだけでなく、定期的実施する時間を設け、お子さまが安心して過ごせる環境設定を心がけていきます。お子さまへの関わりについては、スタッフ間でお子さまの様子を状況に応じて共有し話し合い、お子さま一人ひとりに合った最適な関わりでの支援を心がけていきます。
2	お子さまの発達・特性に合わせた個別支援計画を作成しているところ	お子さまの普段の遊んでいる姿や、ちょっとしたエピソードをスタッフ間で共有し、その時々のお子さまの発達や興味に合わせた支援計画を作成できるよう心掛けています。出来上がった支援計画は必ず共有し、お子さまの発達や特性に合った計画が作成されているか確認を行っています。また、保護者さまに、どのような意図で支援計画が立てられているか丁寧な説明をおこなっています。	面談などを通じて、保護者様の想いや願いを汲み取り、そこにお子さまの発達や様子を加えて、これからも個々に合ったオーダーメイドの支援計画作成に努めていきます。その為に支援目標に対してのモニタリングをしっかりと行い、スタッフ間で共有し、次の個別支援計画の作成を行います。常にお子さまのより良い成長をイメージしながら、支援計画の作成に取り組んでいきます。
3	お子さまの興味に合わせた遊びや活動ができる場所	お子さまが好きな活動を選択できるような環境設定に取り組んでいます。特に、ゲームなどその時々で利用できるものの絵カードをホワイトボードに貼りレストランのメニュー表のように選択できるよう提示の方法を工夫しています。また、使用しているゲームは「今使っている」の文字が貼られたホワイトボードに移し、選択するときにお子さまが使えるゲームが一目瞭然になるようにしています。	常時、選択できる玩具だけでなく、イレギュラーなタイミングで遊べるものや、年齢・発達に合わせた玩具を用意し、お子さまが常に楽しんで取り組めるような工夫を行っています。お子さまの興味・関心を知るために、お子さまと積極的にコミュニケーションをはかり、環境設定するための事前のリサーチも心掛けていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難計画やマニュアル、訓練を実施しているがそれが周知されていないところ	避難計画やマニュアルを用意し、事業所のドアにも掲示していますが、それらの周知がされていないためだと考えます。	改善のために、事業所の玄関フロアに大きなホワイトボードを設置し、避難計画やマニュアルを保護者様が手にとって見ていただけるようにしました。そこに、避難訓練の実施のお知らせや、ブログの更新日時を明記し共有をおこなっていきます。
2	安全対策は、常にスタッフ間で話し合い講じているがそのことを保護者様と共有できていないところ	安全対策について、お知らせする機会や媒体がないことだと考えます。	安全対策を事業所玄関フロアにある掲示板で保護者様に知らせると共にブログでも具体的な改善点を明記し、お知らせしていきます。
3	保護者様を介して、小学校や特別支援学校との連携はとっているが、そのような対応ができるという情報の共有や周知する機会が少ないところ	保護者さまと、日々のお子さまの様子の伝達だけで引継ぎの伝達を終えてしまっているからだと考えます。	保護者さまのご相談がないときでも、お子さまが通学されている学校といつでも連携することができる体制があることを折々にお伝えしていきます。